

市長と教育を語る会

- 1 趣 旨 少子化や犯罪の多発、経済不況、新型インフルエンザの流行と子どもたちを取り巻く環境の変化は必ずしも望ましいものとは言えない。このような中、今年度4月に、八幡浜市の新市長になられた大城一郎氏と当面する教育諸問題について語り合うことにより、今後の教育の在り方を探り、問題解決への一助としたい。
- 2 主 催 愛教研八幡浜支部
- 3 後 援 八幡浜市教育委員会 八幡浜市校長会
- 4 日 時 平成21年8月29日（土）16：00～19：00
- 5 会 場 センチュリーホテル・イトー
- 6 参加者 44名
- 7 内 容<大城市長の講話の概要>

(1) 市政の3つの柱

- ① 安全・安心・・・市立病院を核とする地域医療の再生に全力を挙げる
- ② 行財政改革・・・無駄な財政支出を抑え、必要性に応じた配分を実行する
- ③ 産業振興・・・「みかん」と「魚」にこだわり、加工品の研究開発に取り組む

(2) 小学校から高校時代までの恩師との思い出

(3) 青年会議所時代にカンボジアで出会った子どもたちの輝く瞳のこと

(4) 教育に求めること

- 心の豊かさを持ち、人間関係を築いていける子どもを育ててほしい。
- 様々な子どもがいることを思い、その背中をそっと押すことができる教師であってほしい。
- 親や地域は、じっくりと手をかけて人を育てることが大切ではないか。そして、政治は金で解決を図るのではなく、その条件づくりをきちんと行うべきである。

8 所 感

市PTA連合会長を務められたこともある大城市長さんは、母校への愛着心や教師とのよき出会いを、単に懐かしい思い出としてではなく、「今の自分の礎となったもの」として、「教育＝人づくり」の大切さを語られました。本市の教育界も、将来の学校統廃合に関する不安などを抱えてはおりますが、我々教職員は、八幡浜の将来を担う子どもたちの更なる成長を願い、今後も互いに高め合っていきたいとの思いを強くもちました。

